

頑張れる時に頑張ったほうが

よりよい人生を送れる

私事で恐縮ですが、四十数年、親しくおつきあいさせて頂いた四つ上の大学時代の先輩を失いました。最後にお見舞いに行ったのは昨年(2008)の12月29日。肺ガンの末期で食事は出来ず点滴のみ、筆談での会話しかできず体重は40キロを割っていました。仕事に遊びに元気な先輩でしたので正直、痛々しかったです。

ここどころ血圧の上がるようなエントリーが続きました(まあいつもですが)ので、今回と次回(2009)の二回にわけて、昨年聴いた心休まるお坊さんの講演をテキスト起こしました。吉野・金峯山寺千三百年の歴史の中で二人目となる大峯千日回峰行満行を果たした慈恵寺住職の塩沼亮潤氏のお話です。よろしかったらおつきあい下さい。



塩沼亮潤(しおぬま・りょうじゆん) 昭和四十三年宮城県生まれ。六十二年東北高校卒業。六十三年吉野の金峯山寺で出家得度、平成三年百日回峰満行、十一年吉野・金峯山寺戦三百年の歴史で二人目となる大峯千日回峰行満行を果たす。十二年四無行満行。十八年千枚大護摩供養満行。現在、吉野一山・持明院住職、仙台市・慈眼寺住職、大峯千日回峰行大行満大阿闍梨。

自分の人生を考える修業の時代

日頃は環境の良い自然公園の山中にある四畳半の庵で暮らしております。

今日も午前中は山で暮らし、午後の新幹線でやって参りましたが、ここに到着する間にも様々な人との出会いがありました。そうした出会った人と色々な関わり合いを持って過ごさせて頂いています。

人には色々な感情がありますが、自分が間違っているという人はおりません。それぞれの行動、行い、立ち振る舞いにより自分が間違っていないと思って生活しております。

たまたま、自分の思いと相反するものがあつた場合に、非常にストレスを感じます。それゆえ私も昔は納得いかないことで悩み、苦しんだこともありました。いま、どんなことが回りに起ころうともストレスというものはありませんが、昔は何でなんだろうという事で悩み、苦しみがたくさん心の中に生じておりました。

千日回峰行という「行(ぎょう)」に出会い、杖を持ち山々を駆けめぐる行者の姿にあこがれ、やがて剃髪して僧になり行を行じていく、その行にまた一体人生とは何なんだ、生きるということは何なんだと自分の人生を考えていく修業の時代があつたということ振り返ってみたいと思います。

人生「全てが行」

生まれてから高校を卒業し、剃髪し、奈良・吉野の金峯山寺で「今日からよろしくお願ひします」と言つてお坊さんの行が始まります。

お寺の生活を修業ということでもできますが、私は、おぎゃーと生まれてきたこと自体が出家ではなかろうか。そして、自分のおかれた境遇、いろんな人との出会いのなかで自分自身の心を成長させて頂くという人生すべてが行ではなかろうかという思いのほうが大切に思います。

人生すべてを行と捉えた場合、一番大事なことは何かを考えると、非常に簡単なことです。人を思いやること、感謝をすること、よく反省をすることだと思います。

一番はじめに師匠から「これをせよ」と言われます。何かというと手を合わせ、自分自身が生まれてから今日まで人は様々な罪業を背負って生きているものだと思います。

人間は自分の心でもって色んな罪を犯すときもありますし、言葉で人を傷つけるときもあります。そして、行いで悪いことをすることもあります。その様々な罪業をよく反省しなさいということです。

自分が犯してしまった過去のすべての罪を償える方法は、本当にすいませんでした、ごめんなさいとよく反省をすることなんです。

ごめんごめん、悪かった悪かったではなく、自分の今までしてきたことを本当に後悔しております。二度と同じ過ちを繰り返さないようにと言った時に、身の回りの自分の罪、汚れが取り除かれる。

言葉をかわず、自分の思いを、真実を、相手に真心を伝えさせて頂く、これは生きてるがゆえにできること。この生かしているということは非常に感謝でもあります。

どうしても人間は自分を厳しく追いやれることもできるし、甘やかすこともできます。明日がある、いずれ頑張ると言っていて、あつという間に人生はあの世とやりに旅立たなければならない。

この世に生まれてきて、年老いて病に伏してあの世に旅立たなければならないというのは、この世に生まれた瞬間から人のさだめです。(以下次号)

カテゴリ: コラム フォルダ: 指定なし   

コメント(2)

タグ: 金峯山寺 大峯千日回峰行満行 塩沼亮潤 慈眼寺 真心 感謝 反省

コメント(2)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **風来坊さん**

2009/01/21 11:20

>このところ血圧の上がるようなエントリーが続きました(まあいつもですが)...

お気持ちお察し申し上げます。私も叶うことなら心休まるエントリーをと思ってはいるのですが、ままなりません。私の場合、糖尿持ちなので血統が下がる話題がほしいのですが...何を聞いても“耳順”にはほど遠く腹のたつことばかりで、これでは先が思いやられません。

>あつという間に人生はあの世とやりに旅立たなければならない。

>この世に生まれた瞬間から人のさだめです。

「戦国武将は常にそのことを心がけ、身綺麗にしていた」ということを何かの本で読んだ記憶があります。やるべきことをやって、悪あがきしなくて済むような穏やかな末期を迎えたいものです。



Commented by **花うさぎさん**

2009/01/21 15:30

To 風来坊さん こんにちは。

>何を聞いても“耳順”にはほど遠く腹のたつことばかりで、これでは先が思いやられません。

同感ですね。目の前に日本の危機が迫っているのに、見過ごすわけにはいきませんし。

>「戦国武将は常にそのことを心がけ、身綺麗にしていた」ということを何かの本で読んだ記憶があります。やるべきことをやって、悪あがきしなくて済むような穏やかな末期を迎え

たいものです。

正直、このままだと、「無念」、「死んでも死にきれない」という事になりそうな気がしてなりません。

やれるだけのことはやろうと思ってます。